

事例

みんなの食の学校「全国おにぎりキャラバンオンライン」

オーガニック料理教室ワクワクワーク（神奈川県）

オーガニック料理教室ワクワクワーク（以下「ワクワクワーク」という。）では、「小さな料理教室からできること全てに取り組むこと」をモットーに、平成30（2018）年から食品ロスの削減や有機農業についての講座を開催するなど、「持続可能な食」について学ぶ取組を続けてきました。

「おにぎりキャラバン」は、「毎日のごはんは宝物」をテーマに、どの世代にとっても身近なおにぎりを通して食の楽しさ・大切さを伝えるプロジェクトで、これまで延べ1,000名以上の方が参加しています（令和3（2021）年2月時点）。「おにぎりキャラバン」は、当初、おにぎり味噌汁とその地域の郷土料理の大切さを

伝えながら全国を回る企画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施が難しくなりました。そこで、全国の学校一斉休業をきっかけとして、自宅等からでも参加できるよう、オンラインの参加型ワークショップに切り替え、令和2（2020）年4月から開始しました。

ワークショップの参加者は、炊いたごはんや具材、海苔などを準備し、自宅等からオンラインで参加します。ワークショップでは、まずワクワクワークの認定講師が「おにぎりキャラバンで伝えたいこと」を話します。そして、おにぎりに関するクイズを出題したり、「おにぎりの思い出話タイム」として、参加者がそれぞれのおにぎりに関する思い出を話します。その後、講師がおいしいおにぎりの握り方をレクチャーし、参加者みんなでおにぎりを握り、最後に全員が「今日のおにぎり」を紹介します。オンラインの取組を始めてから、全国から、高齢者や障がいのある方も参加できるようになり、様々な地域や世代、性別の方が一堂に集まる取組となっています。参加者からは、「家族の人が食べてくれるのがたのしみです。」「素手で握るおにぎりがこんなにおいしいことを初めて知りました。」などの感想が寄せられています。

「おにぎりキャラバン」の取組は、復興支援を目的とした陸前高田市とのコラボレーションや、Instagramでのフォトコンテスト、オリジナルのおにぎりレシピコンテスト等にも発展し、全世代の方が楽しめる複合的なプロジェクトとなっています。こうした取組が評価され、令和2（2020）年度、農林水産省・消費者庁・環境省連携「あふの環プロジェクト¹」主催「サステナアワード2020伝えたい日本の“サステナブル”²」にて受賞作品に選定されました。



オンラインでの「おにぎりキャラバン」の様子

第3章

地域における食育の推進

1 「あふの環2030プロジェクト～食と農林水産業のサステナビリティを考える～」。持続的な消費拡大に向け、生産から消費までのステークホルダーの連携を促進するため農林水産省・消費者庁・環境省が連携して立ち上げたプロジェクト

2 「サステナアワード」とは、SDGsゴール12「つくる責任つかう責任」を踏まえ、食や農林水産業に関わる持続可能なサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取組の中で、特に社会的課題の解決につながり、わかりやすく大勢の人の関心を引き付ける取組を表彰するもの。令和2（2020）年度、第1回の表彰を行った。